
認知症についての正しい理解と予防を

～認知症の街頭啓発に参加しました～

世界アルツハイマーデーである9月21日、徳島駅前において認知症についての街頭啓発が行われました。

最近厚生労働省が発表したところによると、全国に認知症高齢者は約460万人おられ、認知症の予備群と言える軽度の認知障害も約400万人いるとされました。両者をあわせると860万人にのぼり、高齢者の約25%（4人に1人）を占めていることが分かりました。

認知症を身近な問題としてとらえ、認知症にならないよう予防に努めるとともに、たとえ認知症になっても、その人が住み慣れたところでその人らしく生活を継続できるようにするためには、認知症についての正しい知識を身に付けることが大切です。



啓発活動には老人クラブ（徳島市老人クラブ連合会から2名参加）の他、飯泉徳島県知事や認知症の人と家族の会等関係者が参加、啓発のチラシやボールペンなどが入った袋を道行く方々に配布しました。